



国際共創学部 国際共創学科 友次 晋介(ともつぐ しんすけ) 准教授 原子力をめぐる国際情勢の研究 日本の科学外交やアジア医療支援を研究

■「原子力」を中心に、「科学外交」に関わる国際関係史を研究。

友次晋介准教授は、原子力技術を中心に戦後の科学外交、国際関係史を専門とし、日本がどう核拡散防止に取り組んできたかを考察しています。「科学外交」とは、人類・国際社会の共有財産であり国力に影響を及ぼす科学技術を他国に提供することで、その国の希望に沿いつつ影響力を高めることです。軍事転用が可能な技術を含む「原子力発電」をどう扱うかは国際社会の課題です。友次准教授は、国際秩序づくりへの貢献度で発言力に差が出る「原子力」を、国際社会での権力関係の縮図と位置付けています。原子力技術は、発電や医療など生活に関わる分野でも利用されています(民生利用)。友次准教授は、日本は軍事転用はしていなくとも専門的知見があるため、民生利用の国際秩序づくりにおいて、高い発言力を発揮できると考察しています。

原子力利用の軍事転用阻止を目的とした保障措置協定と追加議定書を国際原子力機関との間に締結し、確実に履行している日本は、核兵器開発意図が疑われるようなことは国際的にはほぼありませんでした。しかし、1970年代後半に一度、再処理という原子力の機微技術についてはアメリカから反対されたことがあります。これに日本がどう交渉し、核兵器不拡散の国際社会の取り組みにいかに関与してきたかを友次准教授は研究しています。また友次准教授は、核軍縮とジェンダーの関連についても研究しています。

■ 原子力をめぐる情勢から考えるウクライナの平和。

ロシアのウクライナへの軍事侵攻の理由の一つとして、ウクライナの西側諸国への傾斜があります。ウクライナは、チェルノブイリ原発事故以降、西側から技術協力や資金援助を受けており、ロシアからみるとウクライナが科学技術の勢力圏争いの縮図となっていると友次准教授は指摘しています。欧米諸国及び日本は、軍事侵攻を続けるロシアへの圧力を強化するため、石油天然ガスについてロシアからの輸入を規制しています。しかし原子力発電所の燃料製造に必要なウラン濃縮についてはロシアが世界のシェアの50%を占めており、こちらは規制できていません。友次准教授は、石油天然ガスだけでなく、原子力燃料の安定供給もエネルギー安全保障の課題であり、日本が交渉力をどう維持していくかも重要としています。

■ 今後警戒される「核テロ」や日本の国際社会での「医療支援」についても研究。

友次准教授は、専門家の間で警戒レベルが上がっている「核テロ」についても研究しています。1972年のミュンヘンオリンピック事件を発端に、2001年の同時多発テロにより潮目が変わり、国家間で連携して対処するという動きになりました。友次准教授は、歴史的経緯を丁寧に追ひ、議論の変化を研究しています。

また、日本が戦後国際社会に復帰する際に戦後賠償の一環としてアジア諸国で行った「医療支援」の現在までの発展についても研究しています。

友次晋介准教授 プロフィール

詳細はこちら⇒<https://web.j8.osaka-ue.ac.jp/ouehp/KgApp?resId=S001494>

1972年生まれ、大阪府出身

経歴：2002年ジョージワシントン大学 エリオット国際関係大学院 修士課程修了、M.A. (International Affairs)。2010年名古屋大学博士後期課程修了 博士(法学)。広島大学大学院 人間社会科学研究科准教授などを経て現職。

論文：”Science of the Twilight Empire: British Atomic Diplomacy in the Era of Decolonization”

(単著、2023年、Asia-Pacific Review 30(1) 80-122、Taylor and Francis)

『核軍縮におけるジェンダー主流化』(単著、2017年、広島平和科学 39 117-126)

主な著書：『国際共同研究 ヒロシマの時代-原爆投下を変えた世界』(共著、2022年、岩波書店)

『核と放射線の現代史：開発・被ばく・抵抗』(共著、2021年、昭和堂)

所属学会：日本軍縮学会、日本政治学会、国際安全保障学会、日本国際政治学会、日本西洋史学会

委員等：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 将来の原子力技術に関わる社会環境整備検討委員会委員 (2019年～現在)

<本件に関するお問い合わせ先>

大阪経済大学 企画部広報課 高濱、東 Tel: 06-6328-2431 Mail: kouhou@osaka-ue.ac.jp

大阪経済大学 広報デスク(プランニング・ポート内) 福嶋、井上 Tel: 06-4391-7156

<https://www.osaka-ue.ac.jp>